

カリキュラム

コースコード：26-401

中小企業大学校 九州校

タイトル	労務リスク管理支援の進め方				
サブタイトル	自社に最適な組織体制づくりの支援手法を身に付ける				
研修のねらい	人材不足、過重労働、メンタルヘルス対策など、労務リスクを適切に見極め管理することは、企業の成長において避けて通れない課題です。本研修では、労務管理の知識を深め、コンプライアンスの実践を通して、労務トラブルを未然に防ぐ支援の手法を修得します。				
日程	2026年7月7日（火）～9日（木）	日数	3日	時間数	18時間
対象者	①中小企業支援担当者並びに 中小企業支援協力機関の役員及び職員 (中堅担当者または職務経験5年程度以上の方) ②認定支援機関	定員	20名	受講料	23,000円
		会場	中小企業大学校 九州校（福岡県福岡市博多区綱場町2番1号）		

プログラム

月日	時間	科目	内容	講師
7/7 (火)	9:50 ~ 10:00	開講式	オリエンテーション	新事業創造育成実務集団 代表 社会保険労務士 労働CSRコンサルタント 奥村 禮司
	10:00 ~ 17:00	企業活動における 労務管理の考え方	労務環境整備に不可欠となる法律の学習及び事例の解説のほか、具体的な現場対応を想定したグループディスカッションを行います。 ・労働管理の考え方 ・労働者や請負・派遣、技能実習等契約形態による対比 ・募集及び採用等 ・労働契約及び就業規則 ・退職及び解雇 ・賃金	
7/8 (水)	10:00 ~ 17:00	多様な働き方への対応と 労働時間管理の基礎知識	裁判事例から求められる多様な働き方への対応及び既存の働き方と新しい働き方への対応のほか、中小企業・小規模事業者が人材の確保につながる手法について学びます。 ・時短労働者及び有期雇用労働者 ・派遣労働者 ・労働時間管理 ・就業制限及び育児・介護等の支援	
7/9 (木)	10:00 ~ 17:00	職場環境管理の 基礎知識とリスク管理	現場ですぐにできる労務リスクの対策手法及びトラブル時に頼れる外部機関との連携の手法について学びます。 ・職場環境の整備及び健康経営 ・ストレス関連特性とマネジメント、外部機関との連携 ・労働者災害補償保険 セクシュアルハラスメントやパワーハラスメントなど企業が労働者に対して配慮すべき義務や雇用管理上必要な措置について学びます。 ・管理者の義務「職場環境配慮義務」 ・管理者の義務「安全配慮義務」	
	17:00 ~ 17:10	終講式		

講師紹介

氏名	略歴
奥村 禮司 (おくむら れいじ) 新事業創造育成実務集団代表 社会保険労務士 労働CSRコンサルタント	常時企業から労働法・労務管理等の相談を受けているほか、弁護士や税理士、社労士等への指導、その他行政や企業にて「労務管理」「ハラスメント」「メンタルヘルス」「ビジネスと人権」等をテーマとした研修の講師を務める。かたい話を柔らかく、そして笑いが入る研修には定評がある。著書に「多様な労働時間管理の運用と就業規則への規定の仕方」(日本法令)「労務管理の基本的な考え方」(産業能率大学)「F P のための労務問題事例集」(きんざい)などがある。

備考

※中小企業診断士資格更新研修 理論1回

※カリキュラムは都合により変更する場合があります。予めご了承ください。

※お昼休みは12:00~13:00を予定しておりますが、予告もなく変更する可能性があります。ご了承ください。